

第 10 回独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院
地域連絡協議会議事録

【日 時】 2019 年 11 月 15 日（金） 14 時～15 時

【場 所】 大会議室（中央棟 6 階）

【議 題】 I 地域医療連携に関するデータ報告 加藤室長

1) 紹介率・逆紹介率・初診患者数の推移 資料 1

2) 病診連携（受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等） 資料 2

II 「前立腺癌の治療、幅広い選択肢 ～SpaceOAR を導入して～」

放射線科 綾川志保 医師

III 討論

IV 閉会

【出席者】（以下、敬称略、五十音順 職名は別紙参照）

伊藤暖果、今村修治、尾辻美和子、狩野良雄、喜多村隆、越 真司、鈴木 学、高橋直幸、永田悦子、日比野正範、村井満美子、安江直二、山口賢司、山田規貴

【欠席者】

大島伸一、加藤雅通、柴田真一、水谷武彦、安井 直、

【当院出席者】

絹川常郎、柴田元博、池田公、加田賢治、細田毅、田中小百合

【オブザーバー】

独立行政法人地域医療機能推進機構東海北陸地区事務所より 2 名

【開会挨拶】

（絹川院長）

皆様、本日はお忙しい中を JCHO 中京病院地域支援委員会にご参集頂き、有り難うございます。今、各地で地域医療構想について活発な議論が進められている時節柄、本日は少し長めの挨拶となる事をお許し下さい。

1. 地域医療構想について

9 月 26 日の第 24 回地域医療構想に関する WG で公表された具体的対応方針の再検証の要請等の対象となる公立・公的医療機関等は全国で 400 病院以上となり、多くの地域で自治体組長等から強い反発が出たため厚生労働省は各地でその趣旨の説明を最近まで行っていたところです。今後は、各構想区域による医療提供体制に関する議論が活発になることが望まれています。

2. JCHO 病院はどうなるのか

JCHO は 57 病院中 22 病院が再検討の対処となっており、それぞれの病院の公的病院改革プラン 2025 の見直しが本部主導で始まったところです。今回の見直しは、公立・公的病院から始まりました。JCHO の前進の社会保険病院も厚生年金病院も公的な資金で設立された病院であり、簡単に言うと、施設と資金を一端、国に返し、新たに出資を受ける形は取りましたが、いわゆる国からの繰入金はありません。これを行わないことは法律にも明文化されています。私ども、公立病院と同じ土俵に乗せられるのに多少の違和感はありますが、それぞれの病院の役割を地域で果たすべく改革に取り組んでいます。

3. 中京病院のこれから

JCHO 中京病院としてはどうするのか簡単に説明致します。JCHO は 1 期 5 年の中期計画に基づき運営され、今年度より 2 期目に入りました。その中で、57 の JCHO 病院は地域の中核病院と

しての目標を与えられた病院と、それを補完する病院の2つに分けられています。当然、当院は前者の役割を果たす病院として位置づけられています。JCHOは独立行政法人ですので、国の方針で運営されます。各病院は収益性が良いからと言って簡単に新たな事業は始められません。JCHO中京病院は、3次救急を初めとする高度急性期医療の提供を中心に据え、これに1996年に国策として設立された介護老人保健施設も運営して参ります。ただしこの2つだけでは高齢化社会の地域医療を完結させることは困難です。病院は、地域の医療ニーズに対応するため、高度急性期機能を補完してくれる機能をもった施設と密接な連携を図って行き、それを住民に理解してもらうことが必須です。地域の行政、医師会、連携先の病院、そして住民代表の集まるこの支援委員会は益々その重要性を増しています。

本日も、是非、それぞれご要望を出して頂き、活発な議論が進められることを祈念しています。どうぞ宜しくお願い致します。

(山口委員長)

南区医師会の山口です。

中京病院も今年12月で開設72周年を迎えます。還暦を経て更に干支を一周したという計算になりますけど、人で例えると前期高齢者、団塊の世代という事なんですが、箱物は建て替えればどんどん新しくなります。実際に中京病院も新病院の計画がありますけども、引き続き高度救急医療そして3次救急を地域住民のために提供していただきたいと思っております。ただ今後は高齢者の生き方の思いもそれぞれ違って国自身も事前に元気なうちに予め終末になった時の医療を考えて下さいという流れになっていますので、中京病院に運ばれた救急患者さんが、もちろん中京病院で完結できるとは思いません。そういった意味で医師会といたしましては2次救急病院も南区には幸い多くあります。回復期病床もあります。そして精神病院もあるし回復施設も利用させていただいて、いわゆる地域包括ケア、医療介護分野ではしっかり良いものを作っていきたいと思っております。では本日はよろしくお願いいたします。

(永田理事)

名古屋市医師会の病診連携担当の永田と申します。宜しくお願いします。先程のお話で医師会の方にも9月の第3週の火曜日だったと思うんですけど、厚生省からミーティングがありまして、名古屋の様な大都会200万人以上の都市はそういう事はないという事は話ししてましたし、ここの病院はその他にどんどん縮小していく地方の病院も名古屋市以外にも全部背負っておられますので、医師会もそうですし大きく言うと愛知県でここの病院は皆で頑張っていかなければいけないと思っております。

あともうひとつ、それと関係はしていないんですけど令和元年1月から認知症の物忘れ外来というのが名古屋市の補助でやる事になりました。それに関してダスク21が30点以上且つ長谷川式のHDSRが20点未満は必要だという事で多分ここの病院の脳神経内科の先生にはご迷惑をかけると思います。65歳以上が対象で地域の人たちがかかりつけ医にかかれて、それで本当の治る認知症が見つかるといいなと思っております。宜しくお願いします。

【概要】

I 地域医療連携に関するデータ報告 (加藤室長)

1) 紹介率・逆紹介率・初診患者の推移 (資料1)

地域医療支援病院報告事項一覧 (資料1-1)

◆ 外来・入院等実績

外来患者延数は74,184人、入院患者延数は42,353人、稼働病床利用率は76.0%、平均在院日数は10.6日、在宅復帰率は97.7%となっている。

◆ 紹介・逆紹介実績 (資料1-2)

初診患者は4,834人、紹介患者数3,229人(紹介率66.8%)。逆紹介患者数は4,816人(逆

紹介率 99.6%) となっている。

◆ 救急実績

患者数が 7,748 人(うち 14.1%が入院)となっている。救急車搬送患者は 1,595 人の 診
療実績となっている。

2) 病診連携 (受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等) (資料 2)

2019 年度 (7~9 月実績) FAX 紹介受診予約/FAX・Web 紹介検査予約について (資料 2-1)

紹介受診予約件数は眼科が突出して多い状況で消化器内科、皮膚科と続いている。

検査予約は CT、MRI が突出して多く、上部消化管内視鏡検査、大腸内視鏡検査、エコー検査
を中心に予約を頂いている。

2019 年度 (7~9 月実績) 開放型病床利用 (資料 2-2)

7 月は 64%と低下しておりましたが、8 月 9 月で前年度を超えて利用していただいている。利
用科は眼科が突出して多い状態で特に中京眼科さんに利用いただいている。

II 「前立腺癌の治療、幅広い選択肢～SpaceOAR を導入して～」 綾川志保医長

《要旨 - スライドより抜粋》

- ・ 前立腺癌の動向
- ・ 前立腺癌の病期とリスク分類
- ・ 前立腺癌の治療法
 - 強度変調放射線治療 (IMRT)
 - ヨウ素 125 永久挿入治療 (密封小線源)
 - ロボット支援根治的前立腺切除術 (RARP)
- ・ 治療法の比較
- ・ SpaceOAR システムの導入

《質疑応答》

(山口委員長)

13 mmのスペースですが、13 mmの距離を確保するだけなのか、ハイドロジェルそのものに放射
線を吸収、ブロックする特性があるのですか？

(綾川医長)

特性はない、距離だけです。距離だけです。距離だけです。13 mmはとても大きいです。

III 討論

IV 閉会

2020 年度 地域連絡協議会開催予定

2020 年 5 月 15 日 (金) 14 : 00～ 中京病院中央棟 6 階 大会議室

**第10回独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院地域連絡協議会
2019年11月15日（金）**

院外委員

NO	委員(フリガナ) (五十音順・敬称略)	職名	新任	備考	出欠
1	伊藤 暖果 (イトウ アカ)	南区歯科医師会長		医療関係団体	○
2	今村 修治 (イムラ シュウジ)	港区医師会長		医療関係団体	○
3	大島 伸一 (オシマ シンイチ)	国立長寿医療研究センター名誉総長		学識経験者	欠 (委任)
4	尾辻 美和子 (オツジ ミワコ)	医) 山口病院 看護部地域医療連携室室長		医療関係団体	○
5	加藤 雅通 (カトリ マサトシ)	愛知県医師会担当理事		医師会	欠 (委任)
6	狩野 良雄 (カノウ リョウオウ)	瑞穂区医師会長		医療関係団体	○
7	喜多村 隆 (キタムラ タカシ)	明治学区連絡協議会会長		市民代表	○
8	越 真司 (コシ シンジ)	名古屋市南消防署長		医療行政代表	○
9	柴田 真一 (シバタ シンイチ)	緑区医師会長		医療関係団体	○
10	鈴木 学 (スズキ マナブ)	医) 笠寺病院 事務長		医療関係団体	○
11	高橋 直幸 (タカハシ ナオキ)	名古屋市南区保健福祉センター福祉部長		医療行政代表	○
12	永田 悦子 (ナガタ エツコ)	名古屋市医師会担当理事		医師会	○
13	日比野 正範 (ヒビノ マサリ)	南区薬剤師会長		関係医療機関	○
14	水谷 武彦 (ミズタニ タケヒコ)	熱田区医師会長		医療関係団体	欠 (委任)
15	村井 満美子 (ムライ マミコ)	名古屋市南区訪問看護 ステーション統括所長		医療関係団体	○
16	安井 直 (ヤスイ ナオシ)	知多郡医師会長		医療関係団体	欠 (委任)
17	安江 直二 (ヤスエ ナオジ)	天白区医師会長		医療関係団体	○
18	山口 賢司 (ヤマグチ ケンジ)	南区医師会長		医療関係団体	○
19	山田 規貴 (ヤマタ ノリタカ)	名古屋市南区南部いきいき支援センター センター長		医療関係団体	○
15名／19名					

院内委員

NO	委員(フリガナ)	職名	新任	備考	出欠
1	絹川 常郎 (キヌカワ ツネオ)	病院長		自院	○
2	柴田 元博 (シバタ モトヒロ)	副院長		自院	○
3	池田 公 (イケダ アキラ)	副院長		自院	○
4	加田 賢治 (カダ ケンジ)	副院長		自院	○
5	細田 毅 (ホシダ ツヨシ)	事務部長		自院	○
6	田中 小百合 (タナカ サユリ)	看護部長		自院	○
6名／6名					